

楽園だより



今までの暮らしが変わる。玄関から、ほっとする家。

2022年 1月1日 No.64

新年明けましておめでとうございます

楽園住宅では、今年も皆さまに安心・安全で快適な暮らしをご提案し、
人と地球環境に優しい住まい造りに全力で努めて参ります。
住まいに関するお悩み事、ご相談など、何でもお気軽にお声かけ下さい。
本年もどうぞよろしくお願いいたします。



**コロナに負けない!!
力を合わせて
コロナ禍を乗り越えよう!!**

快適な『おうち時間』を過ごせる家をつくります!!

楽園住宅スタッフ一同

年の初めに思う。

私は子供の頃、よく母から言われたのは「大きくなったら、人や世の中の役に立つ人間になれ」と!
それが若い頃には「人は何のためにいきているのだろうか?」という考え方になりました。

素晴らしい師、良き友、良い本との出会いが「人や社会のお役に立ち、幸せな人生を歩むため」
ではないかと思うようになりました。

今年は70歳の大台を迎えます。果たして、母から言われた通り、此れまでの人生が人の役に立っていたのか?
人や世の中の役に立てる事は反面、自分自身にとっては幸せな人生を歩んだ事になります。

此れまでの人生、大勢の素晴らしい人達との出会いに恵まれ、毎日やる事もあります。この事を会社に置
き換えて考えてみると、お客様の役に立つ会社になっているのか? 地元で育った木を使って快適・省エネ
で地震にも安全な住宅をお届けする事が世の中で、お役に立つ事だと思えます。

お役に立てる事が会社として幸せな事だと思えます。

今年も技術を磨き、多くの人に喜んで頂ける1年にしようと思えます。

楽園住宅 金子一弘



『ドイツパッシブハウス認定
コンサルタントのいる工務店』

恵那市長島町正家一丁目5番地5
TEL 0573-26-5122

**楽園
住宅**

公式LINEはじめました!

@azj8127w



ご意見・ご質問ございましたら、
なんでもお問い合わせください!!
また、こんな事本気でやって欲しい!
ということがございましたらぜひ、
リクエストお願いいたします。

共同住宅初のパッシブハウス認定を目指す！

地域初！東濃ひのきを使った大型パネルプロジェクト

パッシブハウスとは

ドイツ「パッシブハウス研究所」が規定する性能認定基準を満たす省エネルギー建築物のことです。基準を満たすためには、PHPPと呼ばれる専用の断熱・エネルギー消費量計算ソフトを使って、家を建てる立地条件に合わせて、間取り、使用材料・設備の選定、そして実現するための施工の技術力が必要となります。パッシブハウスに認定された建築物には、ドイツから認定証が交付されます。立地条件によって仕様が変わる為、唯一無二の特別な建築物です。

—今回、社員寮をパッシブハウス(認定申請予定)で建設しようと思われた動機はなんですか？

兵藤 パッシブハウスというものを全く存じ上げておりませんでした。最初は体にいいとか、健康にいいとか、エネルギーを使わなくて済むとか。なんかこれいい話なのかな?と思って聞いておりました。建物の性能や省エネに関しては、日本はヨーロッパと比べて遅れているという話をお聞きしました。確かに私の実家は、冬は寒いし、なんだか隙間風も入ってきます。ヨーロッパではもう20年30年先を行ってる、中国でも政府が推し進めているという鎌倉先生のお話で具体性をつけていただき、よりオフィシャル感が高まり、これはちょっと検討する価値があると思ったのがきっかけですね。やはり、今後こういった家に日本も切り替わっていくであろうという時に、どうせ変わっていくなら、やっぱり会社として早く行った方がイメージもいいのではないかと。社員寮として海外からの技能実習生の方たちに、快適に使っていただきたいという気持ちが大きいですね。

—パッシブハウスを提案しようとしたきっかけは

鎌倉 パッシブハウスは10年ぐらい前からあるって事は知ってたんですが、実際に自分でやってみようと思ったのは5~6年前からです。カネコさんと同行した、ウィーンのパッシブハウス世界大会がきっかけです。カンファレンスでの発表を聞いて感じたのが、パッシブハウスってものはドイツのものなので、気候が違うからって言われるんですけど、関係ないんですよ。物理の法則なので、どこの気候でも成り立つ。私ももうこれで40年近く建築に携わってるんですが、振り返ると、5年経つと変わってるんですよ、全てのことが。私は事務所を立ち上げて早25年になりますが、省エネやパッシブに興味を持ったのをきっかけに、OMソーラーをやりはじめたんです。車で言うところのプリウスが出始めたころです。環境に考慮することは、絶対これからは必須だなと感じ、OMソーラーをきっかけにこれやってこうと思ったんです。しかし、実際に何軒か建てていくうちに、床下エアコンの話が出てきて、高断熱高気密に

していれば、エアコン1台で冷暖房ができるという流れがありました。

そんな中で、もっと根本的な建築としての基本性能をしっかり突き詰めた考え方が、パッシブハウスなんだと再認識しました。基準に沿って、その時一番いいと思ってやっていたことが、何年かすると当たり前になって古いものになっていってしまうという点に、なぜ気づかなかったかと言うと、日本の政策が見てなかったからです。今までは、とにかく日本の基準法さえ守って、日本の中で周りよりも少し上をいけば良いと思っていたところが、世界から見ると本当に、井の中の蛙だったと感じました。

そう考えると、パッシブハウスのように世界的に進んでいるものというのは、それ以上、上がらないところまで行ってるのではないかと。であればこれを造ってあげれば、10年経とうが、20年経とうが絶対これ以上はないものだと思います。

パッシブハウスは、そういう意味でもオススメできる、私もこれから取り組むべき価値のあるものだという確信があります。急にパッシブハウスをやりたいと言っても、なかなか周囲にご理解いただけないのは住宅でも同じです。2年ぐらい前に、初めて三協高分子・本社の寮で、高断熱高気密に取り組んでみたのがきっかけだと私は思っています。パッシブハウスを造ることが、脱炭素に向けた一つの手段だと思っています。我々にできることは何かと考えると、設計でパッシブハウスを提案することではないかと思えます。きっと、会社としても、パッシブハウスを造ることによって、社会に貢献できるところに価値があると思えました。

本当に、御社にこの判断をしていただけたことはありがたく、素晴らしいと思います。来年は、本当に注目される物件になると思います。

—パッシブハウス建設を決定してから実現までの道のりをお聞かせください

森 毎年、海外からの実習生達が入社して、この近辺(恵那)でアパートを借りているのですが、習慣や文化の違いによって生じたトラブルが、実際過去に何度かあったんですね。例えば、土足で部屋に上がってしまったりということがあったりして、そういう習慣の違いから、近隣の方に迷惑をかけたこともありました。そのようなこともあり、自社で寮を建てる事にご賛成しました。

兵藤 自分のところで建てるのが一番安心できる。もし社内でコロナの感染が起こってしまった場合に、個別に分けて隔離することができると、接触を極力控えることで、他者の健康を守れるという点ですね。下手すると、社内で感染者が何十人と増えてしまうことを想定すると、生産ラインが止まってしまうことにもなりかねません。来年の夏、コロナがどうなっているかわからない状況ですけども、目先で言えば、来年の夏「健康」に過ごせるということですね。

インドネシアでは、実習生で来たいと言う方が沢山いる状況です。彼女たちは来日する時、実習先を地域で選ぶそうです。なぜかと言うと、東京は賃金が一番高い、どこが高くても低くと分かってるんです。三協グループは、「会社の寮を建てたい」「すごく綺麗だ」「暑いも寒いもない」ってなると、パーアとすぐ口コミ等で広がっていきます。そういうメリットもあるのかなと考えています。実習生の彼女たちに喜んでいただきたいですね。

—光熱費など費用面での期待は

兵藤 三協高分子・本社の方では、寮の光熱費は実際に住んでいる実習生たちの意識なんてそんなに変わらなくて、エアコンの温度を上げようが下げようが関係ないですよ。

鎌倉先生がおっしゃる通り、パッシブハウス仕様で建てる寮は、部屋が快適なので、エアコンを入れればなして一定の温度を保ってくれて、むしろエアコンを切ってくれるなど言うくらい感覚ですね。一番のメリットはその点ですね。コストです。一度試算していただいて、30人で今の光熱費で換算したら、だいたい年間170万円くらい安くなるんじゃないかと伺いました。やはり、パッシブハウス仕様だと、通常より2000万から3000万ほど建築費が高くなってしまいます。しかし、年間の光熱費が170何万節約できるんだとしたら、もうあつという間に回収できるのではないかと計算になりますので、やはりコスト的にもかなり大きなメリットがありますね。

—楽園住宅を推薦していただいた理由

鎌倉 やはり、パッシブハウスに挑戦するってのは、自分でも経験したんですけども、未知の施工なんですよ。その大変さを、自分でも豊田パッシブハウスで経験しているの。例えば、どこかの建築屋さんをお願いするにしても、まずその施工担当者、監督さんらの理解がないと絶対に認定数値を、クリアすることができない建物なんですよ。見た目OKじゃない建物、性能がちゃんと担保されなければ、認定が取れないという建物で、知らない会社をお願いすることは、非常にリスクが高いと感じます。そういう意味で、楽園住宅は高断熱高気密では、地域でも有名な会社ですし、パッシブハウスについても独自に、認定を取ってるという実績があるんですね。

パッシブハウスは、意気込みだけできんたろう、技術が伴わないといけないう点で、楽園住宅をお願いしました。

—今回、パッシブハウスに加えて大型パネル工法を採用。なぜ、大型パネルなのか

鈴木 今回パッシブハウスに加えて、大型パネル工法で建設しようとしております。大型パネルとは、あらかじめ工場ですべての構造材、間柱・面材・断熱材・サッシなどを一体化したパネルです。職人の高齢化と、減少という問題もあり、できるだけ工場できたものを現場で組み立て、工期を短縮するという大型パネル工法を採用しました。弊社としても初挑戦の工法となります。また、せっかくなら地元の木材を使いたいということで、地域初、東濃ひのきを使った大型パネルを試みることにしました。東濃ひのきの特色は、ピンクがかかった上品な赤み、年輪が詰まっていて、年数が経つと輝きが増します。他産地と一番大きな違いは、東濃ひのきは8回挽きと言うのですが、丸太をまず4回挽きして四角にします。それは当然未乾燥、生材です。その材を3ヶ月から6ヶ月間天然乾燥させて、それからまた挽き直して出荷しています。そうすることで、木の持っている曲がり、くもりがなくなり、割れも少なくて無駄なく使えるようになります。さらに、見た目も大変美しくなります。品質・精度良く仕上げていく製法がずっと受け継がれてますし、乾燥技術は当然しっかりしたものです。その東濃ひのきを使用したパネル工法の建物は、この地域で初めての試みとなりますので、非常に楽しみにしています。

—このプロジェクトを通して、地域や社会に伝えたいメッセージは

兵藤 「家から健康」技能実習生たちが会社から酷い扱いを受けているニュースを見ると、心が痛みます。入居される方が、健康で暮らせるようにすることが、我々ができる一番の福利厚生だと考えています。家にお金をかけて、健康も大事にしたいと願っています。

鎌倉 「パッシブハウスの普及」が、我々がやらなければいけない使命だと考えています。我々が手掛ける大きな建物が、実例の第一号であることに大きな意味があると思っています。公共建築物など、次につなげてもらいたい、そのためのマイルストーンになることを期待しています。



三協高分子株式会社 常務取締役 兵藤 裕子さん

岩村三協株式会社 執行役員 工場長 森 幸司さん

鎌倉寿建築設計室 一級建築士 鎌倉 寿さん 認定パッシブハウスデザイナー

金子建築工業株式会社 代表取締役 鈴木 秀利

宿泊体験モデルハウスのご案内



住所：恵那市長島町正家一丁目11番地1

年中快適

楽園住宅 長く暮らす「家」だからこそ 住み心地を体感しよう！
無料宿泊体験できます！

岩村三協(株)様(仮称) 岩村共同住宅新築工事 完成イメージ



岩村共同住宅の断熱仕様とUA値

外皮平均熱貫流率：UA値：0.181W/m²・K

断熱仕様：天井(桁上)：ネオマフォーム t=100 二重敷込
壁：柱内：ネオマフォーム t=90
付加断熱：ネオマフォーム t=100
床：大引間：ネオマフォーム t=100
床合板上：ネオマフォーム t=60



----- エアコン1台で家中どこでも快適な空間をぜひ体感して下さい -----

楽園住宅 宿泊体験随時受付中！ 恵那市長島町正家一丁目5番地5 TEL 0573-26-5122

楽園住宅

